

平成 23 年度事業報告書

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

概 況

全ての基本である会勢拡大の重要性に鑑み、会を挙げて青色申告普及と会員勧奨に取り組みましたが、残念ながら会員数は年間で 169 名(前年 200 名、前々年 176 名)減少し、3,662 名(前年 3,831 名、前々年 4,031 名)になってしまいました。これは、今から 40 年も前の、足立青色申告会と分かれて当会が発足した当時(昭和 48 年 4 月)の会員数です。内訳は、年間 200 名を超える廃業者を含めた退会者が 322 名(前年 344 名、前々年 324 名)、入会者が 153 名(前年 144 名、前々年 148 名)という状態で、僅かですが入会者数は増加しています。

ただし、地元足立区の人口推移をみても、総人口は平成 13 年から増加に転じ、平成 24 年 1 月現在過去最高の 64.5 万人に達していますが、生産年齢人口(15～64 歳)は昭和 52 年頃の水準にすぎず、著しい高齢化により地域経済の活力が失われている感は否めません。

そのため、本年度は一般社団法人への組織変更により、会員資格の拡大と柔軟な会運営が可能になったことを受け、地域経済の活性化と産業の振興を目的に足立成和信用金庫と協定書を締結し、決算や確定申告相談の効率化を目的に O C R (自動読取装置)用入力用紙の使用を開始しました。

事業報告

1 組織の拡充強化・公益性に関する事業《総務委員会》

- (1) 東日本大震災の復興支援を目的に、定時総会において福島県物産展やオークションなどの震災復興支援イベントを開催し、会員のみならず多くの皆様にご協力を頂戴した。また、集まった義援金 860,415 円を会津若松市へ届けた。
- (2) 会からの各種配付物の配送方法を検討するため、12 支部(小台、宮城地区)と 13 支部(新田地区)に限って、クロネコヤマトメール便を試験的に利用した。
- (3) 「税を考える週間」や「確定申告期間中」に西新井駅を中心に街頭キャンペーンを実施し、特に「税を考える週間」ではアリオ西新井店に「税金クイズ」の会場を設営して、地域社会に税の P R を図った。

2 財政の充実強化に関する事業《財務委員会》

- (1) 簡易保険と青色共済などの取扱収入が減少した結果、収益事業収入は 944,547 円、約 5% 減少(前年 8% 減少)した。
- (2) 会員の利便性と支部役員の負担軽減を目的に会費や青色共済の現金集金を中止し、口座振替手続きを進めた結果、年度末までに 92% の手続きを完了する。

3 指導に関する事業《指導税制委員会》

- (1) 「税」を中心とした事業
 - イ O C R (自動読取装置)用入力用紙を利用した相談体制を導入し、検算や清書作業を機械化するとともに、用紙の準備や提出などの面から、e - T a x を積極的に利用できる環境を整えた。
 - ロ 中間決算相談会の出席率が過去最高となり、他の相談会の出席率もほぼ例年並みを達成した。
 - ハ 各種相談会の開催中を除き、未入会者を対象に 1 回 2 時間、2 回までの無料記帳相談を実施するとともに、土曜日しか来局できない方のために、予約制で土曜日の個別相談を行った。
 - ニ 22 年度の西新井税務署長感謝状に続き、5 月 17 日に荒井東京国税局長より東京税理士会西新井支部と連名で、e - T a x 普及推進に対して感謝状を受け取る。提出申告書数に占める利用率は代理送信を含め、所得税で 52%、1,774 名(前年 46%、1,630 名)、消費税で 71%、446 名(前年 67%、477 名)に達した。
 - ホ (社)東京青色申告会連合会と共同して税制改正運動を展開し、署名活動や陳情運動により「固定資産税と都市計画税の軽減措置の継続」などを実現した。
- (2) 「経営」に関する事業
 - イ 日本政策金融公庫千住支店と提携して融資相談会を 5 回開催した。
 - ロ 足立成和信用金庫の協力を得て、低利な会員限定「青色申告会ローン」をスタートした。

4 会勢拡大に関する事業《組織委員会》

- (1) 会員増強「プラス 1」運動を推進し、年間 153 名(前年 144 名、前々年 148 名)の入会者を獲得した。
- (2) 準会員制度の P R に努めた結果、年度末の準会員数が 133 名(前年 125 名、前々年 122 名)に増加した。
- (3) 西新井税務署「青色コーナー」において、青色申告新規申請者 26 名(前年 58 名、前々年 93 名)と入会者 11 名(前年 13 名、前々年 24 名)を獲得した。

5 広報に関する事業《広報委員会》

- (1) 会津若松市をはじめ、多くの広告協賛を頂戴して、会報「にしあらい」100 号記念号をフルカラー印刷で発行した。
- (2) (社)東京青色申告会連合会第 4 ブロックの各会と協力して、ホームページを全面的にリニューアルし、足立成和信用金庫とのリンクも実現した。

6 連帯・協調の醸成に関する事業《事業厚生委員会》

- (1) 新ホームページに、個人事業活性化サービスの一環として「匠の技」サイトを約 100 名の申し込みを受けて開設した。
- (2) 源泉・決算・確定申告相談会中に各種収益事業の専任担当者が、事業の説明並びに勧奨を実施した。
- (3) 独立行政法人中小企業基盤整備機構よりモデル団体の指定を受け、小規模企業共済の普及で全国有数の成果を挙げた。
- (4) 会館において青色ドックを実施し、27 名(前年 30 名、前々年 37 名)が受診した。
- (5) 東日本大震災の復興支援を目的に実施した夏季研修会に、目標の 500 名を超える 541 名(前年 570 名、前々年 615 名)の参加があった。被災地では地元テレビに取り上げられるほどの大歓迎を受けた。
- (6) 気軽に参加できるイベントとして、ボウリング大会を 4 回開催し、延べ 205 名(前年 3 回 223 名)の参加を得た。